

	胃がん検診		肺がん検診		大腸がん検診	子宮がん検診		乳がん検診		前立腺がん検診
検診名										
対象年齢	40歳以上の偶数年齢 <b>B</b> をお読みください	40歳以上	40歳以上		40歳以上	20歳以上の女性		30歳以上の女性		50歳以上の男性
料金 (★)印は料金が無料となる人がいます <b>A</b> をお読みください	2,700円 (全ての人が有料)	2,700円(★)	1,100円(★) (65歳以上は結核検診を兼ねるため無料)	1,800円(★)	300円(★)	1,300円(★)	2,300円(★)	1,700円(★)		600円(★)
検査方法	胃内視鏡検査 口または鼻から胃カメラを挿入し、胃の内部を観察します。	胃部X線検査 バリウムと発泡剤を飲み、X線撮影をします。	胸部X線検査 胸部X線検査は胸部のX線撮影をします。 喀痰検査は3日間、痰をとり、がん細胞の有無を調べます。	胸部X線検査・喀痰検査 (問診により対象となる人)	便潜血検査 (検便検査) 2日分の便をとり、血液が混じっていないかを調べます。	頸部検査 頸部(子宮入口)または体部(子宮本体)をブラシでこすって細胞をとり、がん細胞などの有無を調べます。	頸部・体部検査 (医師の判断)	マンモグラフィ検査 (乳房X線検査) 乳房をプラスチックの板に挟んでX線撮影をします。早期がんの「石灰化」を見つけやすい検査です。	乳房超音波検査 (エコー検査) 超音波を乳房に当て、画像を観察します。乳腺密度の高い部分でも小さい腫瘍を見つけやすい検査です。	血液検査 採血して血液中のPSA(前立腺に特異的なたんぱく質)値を調べます。
注意事項 ※必ずお読みください!	<b>【対象とならない人】</b> ●食道・胃・十二指腸疾患で、定期的に内視鏡検査を受けている人 ●治療目的で、胃薬を内服している人 ●内服薬のうち、抗凝固薬及び抗血小板薬(両方とも血液をサラサラにする薬)を内服している人 ●市の胃がんリスク検診で、要精密検査となった人	<b>【対象とならない人】</b> ●妊娠中または可能性のある人	<b>【対象とならない人】</b> ●妊娠中または可能性のある人		大腸がんからの出血は、常に続いているものではなく、出血したり、止まったりしますので、2日分の便を提出してください。 便の表面をまんべんなくこすりとり、 ①冷蔵庫 ②保冷剤を入れた箱 ③日の当たらない涼しいところ のいずれかで保存し、できるだけ早く提出してください。	*子宮がん検診は、細胞を採取する際、出血する場合がありますので、生理用ナプキンをお持ちください。 *子宮頸がんの多くは性交渉で感染するヒトパピローマウイルス(HPV)が原因のため、性交経験がない人は、子宮がん検診を行うかどうかを医療機関にご相談ください。		<b>【対象とならない人】</b> <b>ワンチャンス!</b> <b>C</b> をお読みください 昭和58年4月2日～昭和59年4月1日生まれの人には、別にハガキで無料クーポンを送付します。		前立腺肥大症や男性型脱毛治療薬はPSA値の判定に影響を及ぼすことがありますので、受診時に申し出てください。
精密検査の種類	胃内視鏡検査など		胸部CT検査、気管支鏡検査など		大腸内視鏡検査など	HPV検査、コルポスコープ、内膜組織診など		マンモグラフィ、乳房超音波検査、画像誘導下生検など		針生検など
がん罹患数の順位	男性3位・女性4位		女性3位・男性4位		男性・女性2位	女性5位		女性1位		男性1位

**A** (★)印の料金が無料となる人

受診日において、次のいずれかに該当する人は受診料金が無料になります

- 70歳以上の人
- 市国民健康保険被保険者 } 受診時に健康保険証を提示してください
- 後期高齢者医療被保険者 }
- 生活保護などの被保護世帯等の人 } 受診時に申し出てください
- 世帯全員が市民税非課税の人 }

受診後の提示もしくは申し出については、該当となりませんので、ご注意ください。

**B** 胃がん検診対象者

胃内視鏡検査の受診間隔は2年に1回です

偶数年齢の人	奇数年齢の人
胃内視鏡検査 } 胃部X線検査 }	●前年度に胃部X線検査を受診または胃がん検診を受診していない人 →胃部X線検査が受診できます ●前年度に胃内視鏡検査を受診した人 →胃がん検診(胃内視鏡、胃部X線検査の両方)は受診できません

どちらかを選択して受診できます

**C** 乳がん検診の対象とならない人

確認内容	乳がん検診の実施方針
<input checked="" type="checkbox"/> 豊胸手術を受けたことがある <input checked="" type="checkbox"/> 授乳中	乳がん検診の対象となりません。心配がある時は医療機関を受診してください。
<input checked="" type="checkbox"/> 妊娠中または可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> ペースメーカー、CVポート、V-Pシャント等の医療機器を装着している <input checked="" type="checkbox"/> 両腕を肩の高さまで上げることができない	マンモグラフィ検査の対象となりません。乳房超音波検査を受診してください。

**D** プレスト・アウェアネスは乳房を意識する生活習慣のこと

乳がんを早期発見・早期治療するために、乳房を意識する習慣を持ちましょう

**Q** 具体的に何をするとよいですか?

**A** 入浴や着替えの時、ちょっとした機会に自分の乳房を見て、触って、感じてみましょう。日頃から「自分の乳房の状態を知る」ことで、初めて変化に気が付きます。変化に気が付いたら、すぐに医療機関を受診しましょう。また、2年に1回、定期的に乳がん検診を受けましょう。

\*国が推奨している検査方法はマンモグラフィです

**E** 総合保健医療センターでを行う検診

乳がん検診(マンモグラフィ検査)・子宮がん検診(頸部検査)が受診可能です。前立腺がん検診・胃がんリスク検診は人間ドックのオプションとしてのみ受診可能です。医療機関と両方受診することはできません。なお、受診券には有効期限2月28日と記載されていますが、総合保健医療センターに限り令和7年3月31日までご利用いただけます。

●予約はこちら 0568-84-3070